Title	棘皮動物イトマキヒトデにおける個体性の確立と維持					
Sub Title	Establishment and maintenance of individuality in the starfish, Patiria pectinifera.					
Author	古川, 亮平(Furukawa, Ryohei)					
Publisher	慶應義塾大学					
Publication year	2022					
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2021.)					
JaLC DOI						
Abstract	本研究では、イトマキヒトデにおいて個体性が確立される変態過程において、発現変動遺伝子の 網羅的な解析をもとに個体性の確立に繋がると予想される遺伝子ネットワークを探索した。 変態初期においては、NFKBジグナル伝達経路で制御される遺伝子の発現上 昇も多く認められた。哺乳類では、レチノイン酸-GATA6経路が腹腔マクロファージの局在を制御 していると報告されている。イトマキヒトデにおいてもレチノイン酸経路は変態開始の必須ジ ナルの一つでおり、哺乳類と同様に、レチノイン酸-GATA6経路が腹腔マクロファージの局在を制御 していると報告されている。イトマキヒトデにおいてもレチノイン酸経路は変態開始の必須ジ ナルの一つでおり、哺乳類と同様に、レチノイン酸-GATA6経路が変態過程における免疫細胞の 局在を制御している可能性は十分に考えられる。 一方、今回の解析では、レチノイン酸の高TAGATA3で制御される遺伝子群の発現上昇も認 められた。哺乳類において、GATA3で制御される遺伝子群の発現上昇も認 められた。哺乳類において、GATA31は油体料細胞の分化や発達に関与すると考えられており、イ トマキヒトデでも、成体における免疫細胞の発達にこれらの遺伝子群が関与している可能性も推 測される。 非常に興味深いことに、変態過程を通して発現が上昇している遺伝子群によるネットワークには 、アルツハイマー病関連遺伝子が非常に多く含まれていた。変態過程では、幼生の神経ネットワ ークを消失させながら成体の神経ネットワークを構築していく必要があり、そのメカニズムがア ハツハイマー病の発生メカニズムの原型になって前能性推測される。この遺伝子ネアトワーク においてハブを形成するアルツハイマー病関連遺伝子のいくつかについては、発現ペクターを用 いたクローニングを完了している。今後、これらの遺伝子について、変態過程における発現領域 の特定や機能解析を行っていく予定である。 In this study, we searched for a gene network that is expected to lead to the establishment of individuality based on comprehensive analysis of differentially expressed genes in the metamorphosis process in which individuality is established in Patria pectinifera. In the early stage of metamorphosis, the expression of genes regulated by the NFKB signaling pathway was increased, strongly suggesting the involvement of the immune system in the metamorphosis in P. pectinifera. In the early stage of metamorphosis in P. pectinifera. In the early stage of metamorphosis in P. pectinifera. In the early stage of metamorphosis in P. pectinifera. In the etandy and bin in analysis, increased expression of genes regulated by the NFKB signaling pathway was increased, strongly suggesting the involvement of the immune system in the metamorphosis, increased expression of genes regulated by GATA6 was also observed. In mammals, the retinoic acid-GATA6 pathway has been reported to regulate the localization of peritoneal macrophages. The retinoic acid pathway is one of the essential signals for the involved in the development of immune cells in adults in P. pectinifera. Interestingly, the network of genes whose					
	Pessareh Papar					
Genre	Research Paper					
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2021000004-20210041					

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2021 年度 学事振興資金(共同研究)研究成果実績報告書

2021 -		争派兴良亚(共		<u> </u>			
研究代表者	所属	文学部	職名	助教	一 補助額	1,337	тш
	氏名	古川 亮平	氏名(英語	Ryohei Furukawa		1,337 千円	
		石	开 究課題(日 2	(語)			
棘皮動物イトマ	・ キヒトデにおけ	る個体性の確立と維持					
			研究課題(英	訳)			
Establishment	and maintenan	ce of individuality in the starfi					
		•	· ·				
			研究組織				
氏	名 Name		所属・学科	•職名 Affiliation, department,	and position		
古川亮平(Ryc			文学部·生物学教室·助教				
田口瑞姫(Miz	uki Taguchi)	文学部·生物学教室	Ĕ∙助教				
		1.	研究成果実績	の概要			
本研究では、	イトマキヒトデリ	こおいて個体性が確立される	変態過程にお	いて、発現変動遺伝子の網羅的	的な解析をもとに	個体性の確	£±
		ネットワークを探索した。					
				遺伝子の発現が上昇しており			
				多く認められた。哺乳類では、 こおいてもレチノイン酸経路は			
				このいてもレテノイン酸粧的は する免疫細胞の局在を制御して			
る。						1 / 1 / 2 / 2 / 2 / 2	,,,,,
				れる遺伝子群の発現上昇も調			
			1ており、イトマ	キヒトデでも、成体における免	!疫細胞の発達	ここれらの遺	i伝
子群が関与して			ている遺伝子語	羊によるネットワークには、アル	~ツハイマー病歴	博造伝子が	ٵ
				せながら成体の神経ネットワー			
そのメカニズム	がアルツハイ	マー病の発生メカニズムの原	型になった可能	12世が推測される。この遺伝子	ネットワークにお	おいてハブを	形
				を用いたクローニングを完了し	ている。今後、	これらの遺伝	子
について、変態	適程における:	発現領域の特定や機能解析る					
			宅成果実績の構				
				o the establishment of individ			ive
				n which individuality is establis ted genes regulated by the			Nac
				the metamorphosis process. Ir			
				oic acid-GATA6 pathway has			
				of the essential signals for the			
•	•	•	icid-GATA6 pa	thway regulates the localizati	ion of immune o	cells during t	the
metamorphosis On the other h	•		f genes regulat	ed by GATA3 was also observ	ved downstream	of retinoic a	ncid
				ntiation and development of h			
could be specu	lated that thes	e genes may be involved in th	he developmer	t of immune cells in adults in I	^D . pectinifera.		
				ughout the metamorphosis pro			
				it is necessary to construct			
				anism may have become the p been completed for some of t			
				tify the expression region and			
genes in the m	etamorphosis p	process.					
		3.本	、研究課題に関	 する発表			
発表 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)		発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌 (著書発行年)	発行年月 月・講演年丿	月)
古川亮平		イトマキヒトデの変態を制御 伝子ネットワークとその免疫		比較免疫学会 第 32 回 学術 (オンライン)	2021 年 8 月		
		義 義					
田口瑞姫・多米 平	米晃裕・古川亮	イトマキヒトデの個体性は 期に確立される		比較免疫学会 第 32 回 学術 (オンライン)	2021年8月		
1		ることを見ている		(4 - J - /			